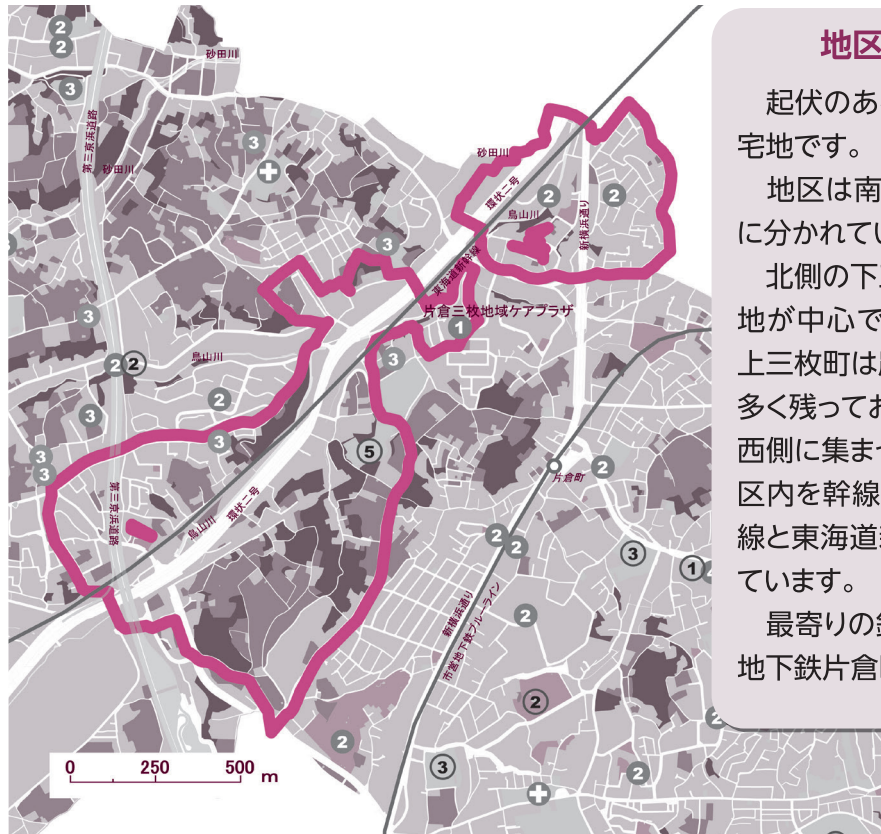




# 三枚地区

- ① 集会施設、文化施設  
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ  
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園  
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉  
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



## 地区概要

起伏のある丘の上の住宅地です。

地区は南北2つの地区に分かれています。

北側の下三枚町は住宅地が中心ですが、南側の上三枚町は農地や山林が多く残っており、住宅地は西側に集まっています。区内を幹線道路環状2号線と東海道新幹線が通っています。

最寄りの鉄道駅は市営地下鉄片倉町駅です。

## 地区基礎データ

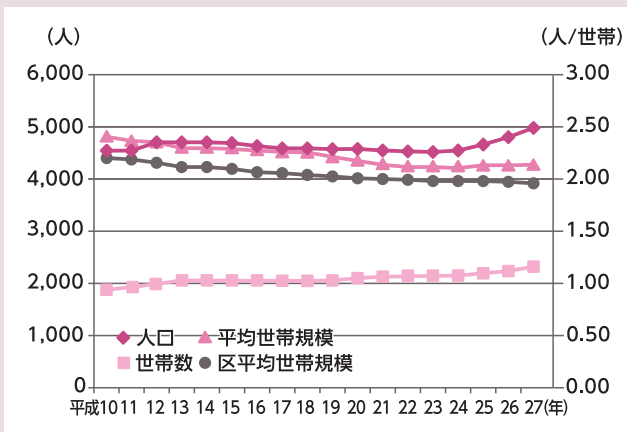
### ●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

	三枚地区	神奈川区
<b>総人口</b>	4,975 人	232,788 人
0~14歳	694 人 (13.9%)	27,667 人 (11.9%)
15~64歳	3,447 人 (69.3%)	155,501 人 (66.8%)
65歳~	834 人 (16.8%)	49,620 人 (21.3%)
<b>総世帯数</b>	2,337 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	2.13 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	211 世帯 (9.0%)	15,662 世帯 (13.2%)

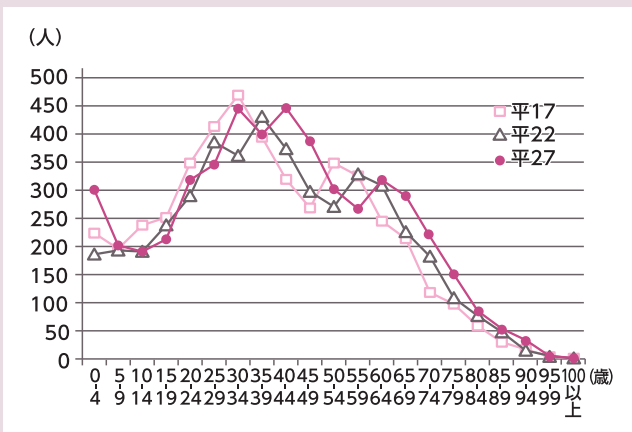
20歳台の転入増加だけでなく、ここに至り30歳台も増加する傾向にあります。それに伴って、0~4歳の子どもの数も増えています。この結果、人口や世帯数が緩やかに増加する傾向にあります。

年少人口や生産年齢人口が区の平均に比べて多くなっています。さらに、平均世帯規模も区の平均を上回っています。

### ●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



### ●年齢5歳別人口の動向



\*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

# みんなでとりくむ「住みやすい町」三枚

## これまでの取組とこれらに向けて

三枚地区では、運動会、お祭り、どんと焼き、ウォーキング、ボーリング大会などのイベントを実施し、人々のつながりづくりに力を入れてきました。子どもを対象とした取組みは、赤ちゃん訪問、すくすくかめっ子、子ども会、地域での見守りなどを行っており、また老人会では食事会やグラウンドゴルフ、旅行会などを行っています。

高齢化率は区内では低いほうですが、今後増加する高齢者の日常及び災害時のサポートを進めるため、さらに、顔見知りの関係をつくることが今以上に求められています。

また、子どもの数が増えており、地域の中に居場所があること、地域で見守っていくことが大切です。

さらに、役員のなり手が不足していますが、具体的な役割を様々な人で分担し、お互いに支え合う関係をより一層作っていくことが望まれます。



秋祭り



運動会

## 目標1 高齢者の見守り 日常のサポートを進めよう

### 【主な取組】

- ◆ゆるやかな見守り(防犯パトロール中の訪問、声かけ、組などの小さな単位で普段から顔見知りになる)
- ◆老人クラブの活動継続と参加者を増やす

## 目標2 子どもの見守り 子どもと地域の関わりを増やそう

### 【主な取組】

- ◆赤ちゃん訪問、子がめ隊、地域での子どもの見守りを継続
- ◆子ども会の役員の仕組み検討(OBがサポーター等で参加する仕組み)
- ◆共働き家庭も子ども会に参加しやすい仕組み作り
- ◆子どもや親と地域との関わりを強化(イベントへの参加や役割分担)

## 目標3 震災時の助け合い 日頃から備えておこう

### 【主な取組】

- ◆要援護者支援の方法の検討(名簿づくり、他地区のノウハウ学習など)
- ◆災害時助け合いの体制作り(近所での取組、自治会での取組)
- ◆防災への関心を高める工夫(災害時の行動についての情報共有、備蓄)
- ◆従来の行事の継続(顔見知りの関係を広げて仲間を増やす)